

4年 総合的な学習の時間 年間計画



SDGs 17の目標の

うち

目標を実現するにふさわしい学習課題「身近な自然環境とそこに起きている環境問題」(環境)
「情報化の進展とそれに伴う日常生活や社会の変化」(情報)

総時間数 70 時間 (1 学期 25, 2 学期 25、3 学期 20)

(活動例)

	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3				
学習内容	岩美の宝を守るために(50)														
	<ul style="list-style-type: none"> 岩美の宝について考える。 岩美の宝(海)について調べる。 <p>【大谷海岸の魅力について知る】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大谷海岸の「今」を知ろう。 自分たちにできることはないか考えよう。(海岸清掃など) →集めたごみの記録を残しておき、2学期の活動につなげる。 きれいにした大谷海岸の魅力を体験しよう。 磯の観察 魚釣り 砂浜での活動 大谷海岸の魅力をまとめて、発信しよう。 新聞づくり プレゼンづくり 	海の魅力を味わい、大切にしていきたい気持ちを持たせる。	海を守っていくために、自分たちにできることを考える。					すてきな海をこれからも守っていくために、自分たちの考えたことを、発信する。							
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	はじめよう、プログラミング!使おう、ICT!(20)														
	<p>【ICT】</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の様子、海岸のビフォーアフターを iPad のカメラで記録しよう。 大谷海岸での活動の記録を ICT でまとめよう。(キーノートまたはGoogleスライドなど) 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の自然環境やその自然環境を守ろうとしている人々の工夫や努力について理解する。 地域の自然や環境を保全するためのアイデアや具体的な取り組みがあることが分かる。 身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があることが分かる。 					<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の自然環境について、地域への関わりを通して感じたことやプログラミングの体験を通して気づいたことをもとに課題をつくり、解決の見通しをもつことができる。 手段を選択して情報を収集することができる。 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理し考えることができる。 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。 					<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向け、自分のよさに気づき、探求活動に進んで取り組もうとする。 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとする。 地域との関わりの中で自分にできることを見つけようとする。 これからの未来について考え、夢や希望をもって前向きに生活しようとする。 			
他教科との関連	全校遠足での海岸清掃 社会科「水はどこから」				社会科「ごみのしよりと利用」										
連携先	海と大地の自然館 (施設利用→Tell : 73-1445,Fax : 73-1446) (左記以外→Tell : 72-8987,Fax : 72-8986) 鉱害防止協会 (Tell72-0426,Fax)														